

瑞穂野南小学校地域協議会

学校を核とした地域ぐるみの子育て活動「サマースクール」

- 夏休みの学校施設を活用し、様々な体験の場を提供するサマースクールが毎年開催されています。
- 地域協議会が立ち上がって間もない頃、地域コーディネーターと教務主任が相談し、夏休みにうどん作り教室を開催したことが現在のサマースクールの始まりです。体験活動の幅は徐々に広がり、今では9種類の体験活動を実施しています。
- 地域コーディネーターの調整のもと、各体験活動の内容に合わせて地域の協力者を集めています。協力者の募集にあたっては、保護者への呼びかけのほか、生涯学習センターで活動している方や地域教育メッセ等のイベントの参加者に声掛けをする等、工夫しています。
- サマースクールに参加することで、子どもたちは、地域の大人にふれあいながら夏休みを過ごすことができます。

9種目の体験活動

クッキング教室	1日
折り紙教室	1日
工作教室	1日
布ぞうり作り	1日
サッカー教室	2日
習字教室	2日
科学教室	2日
絵手紙作り	2日
読み聞かせ	4日



クッキング教室



折り紙教室



工作教室



布ぞうり作り



サッカー教室



習字教室



科学教室



絵手紙作り



読み聞かせ

【学校の声】

地域に娯楽施設が少ないので、子どもたちが遊びに来る場として非常に有意義なものとなっています。夏休みに出かけるきっかけとなり、夏休み明けの不登校の防止にも繋がっていると思います。

協力者の募集など人材の調整を含め、地域コーディネーターが中心となって準備をしてくれるため、職員数が少ない小規模校ということもあり、とても助かっています。

【地域協議会の声】

瑞穂野南小は学区が広く、友達の家遊びに行くのにも保護者の送迎が必要なお客が多いです。学校に子どもたちが集まって楽しく活動できるものがあればと思いサマースクールを開催しています。

子どもたちが道具を持って楽しそうに学校に来る姿や、子どもたちに名前を覚えてもらえることがやりがいとなっています。

【いいね!】

○ 子どもたち自身による遊びや体験機会の確保が難しいという地域の実情がある中で、地域の教育力を生かし、学校を核とした活動により、遊びや体験機会の提供ができています。

○ ボランティアの調整などは地域コーディネーターが行う一方で、書類やちらしの作成は学校が行うなど役割分担ができています。

